

<成績分布の把握>

本校では定期試験の点数を合計して成績分布の指標を作成している。

<指標の根拠>

介護福祉科、作業療法学科共にそこに所属する学生は同一学年であれば常に同じ科目数（時間数も）の授業を受けている。（作業療法学科の科目認定については例外として後段に記載）

本校で行なわれている実学教育においては、習得するための時間数に差があるとしても臨床現場での重要性においては時間数に比例する形での差があるとは認められるものではない。（GPAのように単位数<時間数>を加味することは無い）

従って各科目において得た得点をそのまま合計する事によって成績分布のデータになり得ると考えている。

<留意点（追再試験、単位認定）>

留意点としては「一旦科目認定試験で不合格となったが再試験の結果合格した場合」及び「他大学等での取得単位を科目認定した場合の扱い」である。

前者については再試験の結果は本校の成績規定に則り、試験の点数に係らず60点（評価C）とする事になるため、点数の合計においては素点ではなく60点で一律としている。

後者については、認定された科目を点数化することは困難であり、また学生によって比較的高得点を得る傾向のある学生とそうでもない学生が混在していることから、認定科目の点数を一律に決める事は不合理であると考えている。本校では「該当学生の認定科目以外の科目の平均点」をもって認定科目の点数化をしている。これにより一定の合理性を保っている。